

(様式6-3)

研修等 報告書

H30年4月4日

三田市議会議長

様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者	厚地 弘行	印
		議員名		
参加者氏名	北本節代 印			
講演会等研修名	子育て支援と子どもの貧困に対する 自治体の役割に関する東京セミナー			
研修事項	○子育て支援と虐待防止 ○子どもの貧困格差問題			
日 時	H30年3月26日(月)～H30年3月27日(火)			
場 所	アットビジネスセンター 池袋駅前別館			
所 見	別紙			
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ 			

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）
交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

子育て支援と虐待防止

北本 節代

所 見

昔は、母親に丸投げでも子育ては出来ていた。一人の働きで家族を養える時代であったが、今それを実現するには、夫の給料を倍にしないといけないが、それは無理！！
今は共働きがあたり前になっている。
母親は男並みの仕事プラス家事と育児、父親も職場環境が厳しさを増し、責任と評価を押しつけられる。雇用も不安定化、核家族化、ひとり親家庭の増加など、現在の子育て環境が大きく変化している。

「しつけ」基本的な生活習慣や社会のルール・マナーなどを身につけるよう働きかけること。しかし、保護者にとって「しつけ」のつもりでも、子供の心身の成長や人格形成など有害な影響を与える行為は「虐待」になる。

「児童虐待」とは、子どもの人権を侵害する行為で、子どもが望まない行為。
安心・自信・自由が脅かされてないか。

児童虐待の対応策として妊婦・出産時の支援や母子手帳交付時に夫の協力や家庭内の気になることを確認する。
虐待の背景には不安等様々な問題がある。こうした問題に気付く役所の相談室や児童委員等関係者の連携で知恵を出し合い、信頼関係を築くことが大事である。
子どもを親が育てる時代から、親と社会が一緒に育てる時代となり、子どもが大切にされる社会は、誰もが生きやすい優しい社会である。
将来を担っていけるように、子どもの育ちを一緒に考えていくべきであると感じた。

三田市では「三田版ネウボラ」で妊娠から出産、育児までを支援する制度がある。
親の相談相手になり、負担を軽減して大いにかかわりを持ち、信頼関係を築くことが虐待防止にもつながると思う。

子育て支援と子どもの貧困に 対する自治体の役割 in 東京



講師 千葉喜久也

【仙台大学教授、厚生労働省母子家庭自立支援事業評価委員】

東北大学大学院博士課程修了(学術博士)。秋田県庁、東北福祉大学准教授、東京有明医療大学教授を経て、現在、仙台大学教授、労働省母子家庭自立支援事業評価委員、福島県児童家庭専門員等として活躍中。著書に「思春期子ども相談の心」(中央法規)、「21世紀型福祉へ挑戦」編著(ぎょうせい)等多数。

子育て支援と虐待防止

3/27 (火) 10:00~12:30

1. 今なぜ子育て支援か
 - (1)子どもの子育ての歴史
 - (2)現代の子育て環境
 - (3)子どもは社会の宝、親の宝
 - (4)子育ては社会と親が育てる時代
 - (5)社会的子育て支援
2. 虐待は何処でも起こる
 - (1)あなたの虐待感覚度は
 - (2)虐待に共感する親たち
 - (3)虐待の世代連鎖
 - (4)虐待の背景にあるもの
 - (5)子どもは叩いて、叱っても良くならない
3. 虐待を防ぐために
 - (1)望まない出産
 - (2)出来ちゃった婚への支援は
 - (3)妊娠と同時に支援が始まる
 - (4)乳幼児支援で虐待死は激減する
 - (5)子育て支援で虐待は激減
4. 子育て支援で未来の地域づくり
 - (1)人生のスタートを豊かに
 - (2)子どもは今が未来につながる
 - (3)地域の担い手を育てる子育て支援
 - (4)子どもは地域の宝
 - (5)子育てで地域の持続的発展を
 - (6)あなたの思いを子どもに

子どもの貧困格差問題

3/27 (火) 14:00~17:00

1. 子どもの貧困
 - (1)子どもの貧困率
 - (2)貧困の連鎖～生活環境、教育環境における負の連鎖～
 - (3)対応困難な子どもたち～学習不振、居場所がない～
2. 支援の施策と取り組み
 - (1)国の施策
 - (2)市町村の取り組み
 - (3)地域の取り組み
 - (4)取り組みの多様化
3. 学習支援と居場所づくり
 - (1)学習支援と相談支援
 - (2)訪問支援(アウトリーチ)
 - (3)居場所づくりの支援
 - (4)人財確保
4. 先進地における支援の実際
 - (1)組織づくり
 - (2)個人に焦点をあてた支援
 - (3)アウトリーチ
 - (4)ネットワーク活用の多面的支援
5. 今後の課題
地方自治体に求められる責任と役割

子育て支援と虐待防止

仙台大学 千葉喜久也



子どもへの貧困 格差問題

仙台大学 千葉 喜久也